

広告

# 「ほしい」をその場で作り出す未来を。

## ——宝塚発！シニアと若手チームによる スタートアップ企業の新たな可能性——

「界面活性剤を使わずに  
水と油を混ぜる！」

誰もが頭に「？」がつくプロジェクトは2017年10月に始まった。実は私たちの身の回りには、食料品や化粧品、農薬などには、有効成分である油と水を効率的に混ぜ合わせた商品が多い。しかし、商品として販売されているもののほとんどに界面活性剤が使用されている。商品の長期保存や品質安定性を重視する現在のものづくりの現場において、油を均質に水と混ぜるための界面活性剤が必要不可欠な存在となってしまうている。大手消費財メーカー出身の奥田伸二社長(61)は、これら商品から合成化学物質がなくなるという背景である「物流や在庫に伴う長期安定性を前提とした非常に長い使用期限」を変えようと考えた。

創業の背景には、「消費者の近くで界面活性剤に頼らず水と油を混ぜ、フレキシブルな状態で使う」新たな仕組みを作れば微量の有効成分で効果的な商品が作れる「さらには「子供たちのために環境負荷や健康リスクの少ないものを」という奥田社長の思いが込められている。



チームでのセッション風景 (於: SASI DESIGN)

### 新たなものづくり 経営のスタイル 「Team OKUTEC」

OKUTECはウルトラファインバブル生成技術を活用した新工法のホモジナイザー(均質に混ぜる機械)の開発に着手した。チームでセッションすることを重視するOKUTECは、スタートアップ企業でありながら、地域行政支援機関

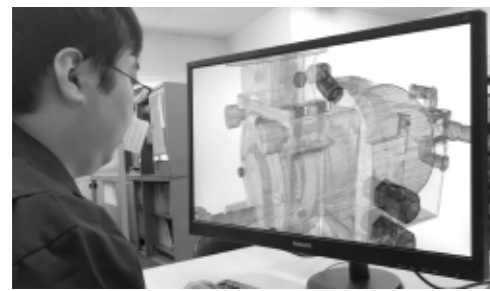
とも連携し、ものづくりと経営に欠かせない各部門の専門性の高いパートナーを招集し「Team OKUTEC」を誕生させた。奥田社長を中心とし、ものづくりのプロフェッショナルなど経験値の高いシニアと、デザインやブランディングなどに長けた若手によるイノベーションを目指した。その第1号商品として「CLOSER Type R1」を開発・リリース。ブランド・ネーミング開発は同じ宝塚に拠点を持つSASI DESIGN株式会社との近藤清人社長が手掛けた。「製造現場を消費者に近づけたい」最高の製品としての切り札という思いを込めてCLOSERと名付けた。また、ものづくりは三十年あまり開発を共にしてきた株式会社プリンシブルの山下専務率いるチームと連動し拘った開発を続けている。

創業2年ながらTeam OKUTECには幅広い専門家の英知が集まっている。OKUTECは、新たな消費スタイルの提案として、スタートアップの新たな経営スタイルとして、果敢に勝負を仕掛けている。その先にもものづくりを目指す若者にとって「目標」となることがシニア起業の責務であるとも語っている。



開発したホモジナイザー「CLOSER type-R1」

[寸法・重量] 230mm (W) × 264 (D) × 310 (H), 9.6kg

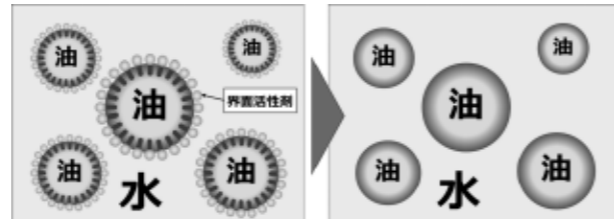


3次元CADによる開発設計 (於: プリンシブル)

### 「ほしい」をその場で作り出す未来型研究所イメージ



### 界面活性剤で覆われた油滴から、シンプルな油滴へ



界面活性剤(乳化剤)有り      界面活性剤(乳化剤)無し

O/W乳化(液滴イメージ図)



ものづくりやブランディング、デザイン、経営戦略などのプロフェッショナルが集まるTeam OKUTEC

**OKUTEC**  
CONNECT TO THE NEXT

株式会社OKUTEC



〒665-0887 兵庫県宝塚市山手台東2-8-13 TEL.0797-69-6202 FAX.0797-69-6022 <http://okutec.co>

